



特集

新春
座談会

防災支え愛の 地域づくりを



防災 支え 愛 の地域づくりを

備えあれば 憂い 梨



ひらい しんじ
平井 伸治

鳥取県知事



まつもと みゆき
松本 みゆき さん

福米中学校区防災体験キャンプ
実行委員長

2人の娘を育てる母。福米中学校区防災体験キャンプに親子で参加、その後運営に参加し実行委員長として地域の防災に力を注ぐ。



みつくに みえこ
三津国 美枝子 さん

松崎地区伝統市「三八市」
実行委員

「三八市」実行委員会立ち上げメンバーの一人。自営業の傍ら、多彩な仲間たちとともに人と人との繋ぐ場の創造がライフワークに。



いしづ あかり
石津 明加里 さん

鳥大防災Lab.所属/
ぼうさいこくたい2026鳥取県運営委員会副会長

鳥取大学2年。土木工学を専門に学びながら、防災サークル「鳥大防災 Lab.」に所属し公民館や学校での防災意識啓発などに取り組む。



しらとり こうた
白鳥 孝太 さん

鳥取県社会福祉協議会
鳥取県災害福祉支援センター災害支援専門官

阪神・淡路大震災で支援活動を経験。国際NGOで避難者支援、被災地行政の支援、復興まちづくりなどに従事。鳥取県中部地震では被災者支援を担当。

鳥取県中部地震から10年。震災の教訓も生かしながら、災害に強い地域づくりを進める取り組みが広がっています。今年10月には本県で「ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）2026」が開催。大会は一層の防災力向上への契機にも。それぞれの立場、地域で力を尽くす皆さんから、「災害に強い鳥取県」に向けた展望をお聞きしました。



地域で紡ぐ防災力

知事 明けましておめでとうございませう。今年は中部地震から10年の節目。地域総出で行方不明者を発見し死者ゼロとなり、集会所で「支え愛避難所」を設けるなど、「支え愛」の力が災害を乗り越えられた最大の要因でした。現場主義ですべての一部損壊住宅やお店の復旧を支援する県独自策を投入し、他県より早く復旧が進みました。

節目に合わせ「ぼうさいこくたい」を倉吉で開催し、全国に向け、鳥取県は地域の絆、「支え愛」で災害を跳ね返した力があるとお見せしましょう。併せて、私たちの地域の防災力を、さらに高める機会になれば。皆さんと一緒に考える年にしたいと考えています。

白鳥 中部地震では、一軒一軒を訪ねて回り被災された方それぞれの状況に合わせて支援に繋ぐ「災害ケースマネジメント」に携わりました。能登半島地震では福祉の専門職で構成された鳥取県DWA T（災害派遣福祉チーム）として避難所で活動しました。避難者の方々が早く地元地域に帰れることが大切で、そのためには「安心して暮らせる地域づくり」に普段から取り組んでおくことが必要だと痛感しました。「声をかけあえる」地域づくりのために、県や市町村、社会福祉協議会がお勧めしているのが「支え愛マップ」です。

※支え愛マップ：災害時に必要となる声かけができる人、避難場所や避難経路などを、住民同士で話し合いながら描き込んだ地域の地図。災害時だけでなく、日ごろからの「繋がり」や「支え合い」の大切さを再確認する。

EVENT

ぼうさいこくたい2026 in 鳥取

国民の防災意識向上や防災活動の活性化などを旨とし、産学官民の関係者が活動発表、交流する日本最大級の防災イベント（内閣府等が主催）

開催日 10月17日（土）・18日（日）

会場 エースバック未来中心、鳥取県立美術館 等



避難者の関連死や二次被害を防ぐための活動をするDWAT(石川県)



参加者同士で話し合いながら課題に取り組む「避難所運営ゲーム」(県立米子西高校)



白鳥 孝太 さん

「声をかけあえる」 地域づくりを

知事 丁寧に福祉も含め解決策を見出す「災害ケースマネジメント」を全国で初めて実行。地域で手を差し伸べる支え愛が全国から評価されていますね。

石津 「鳥大防災Lab.」では、避難所運営について学んだら、地域の方や子どもたち向けに防災ポトルや新聞紙スリッパづくりの体験ワークショップ、鳥取県版HUG（避難所運営ゲーム）の研修会などを行った

知事 子どもたちが自然な形で災害時に何が大切なのかを学んだり、どうやって避難するかをみんなで考える。将来に繋がるモデル的な事業で、他の地域に広がればと願います。

皆さんのお話から、世代から世代へと防災の知恵を引き継いでいくことや、地域の中でみんながそれぞれの役割を果たしていくことの大切さが伝わってきました。

繋がりが地域を守る

白鳥 災害福祉支援センターで取り組んでいる防災福祉教育では、小中学生を中心に親子や地域の方々を対象に「これまでの災害から学ぶこと」をお伝えしています。「いのちを守るために、自分に出来ること」がテーマです。

また、障がい者や医療的ケアが必要な方たちとご家族にとって「安心して避難できる場所」が必要で、社会全体にとっても大切なことです。当事者や

ご家族を中心に地域住民や学校、福祉施設や行政などが互いに協力し合って、はじめて実現すると思います。「自助、互助、共助、公助」すべての連携が必要です。

「ぼうさいこくたい」では、それぞれが「いのちを守るため、私には何ができるか？」のヒントを持ち帰れる、そんな場になればいいですね。

石津 鳥大防災Lab.では、今後もワークショップやHUGの研修を通じて、防災に関心を持つきっかけを提供していきたいと考えています。未来を担う子どもたちに興味を持ってもらうことも意識しています。HUGは、地域の方の意見もいただきより良いものにしていきながら、どう全国に広めていくかも考えていきたいですね。

「ぼうさいこくたい」に向けて、大学生の立場から防災にどう関わることができるのか、他大学とも連携しながら考えていきたいなと思っています。
三津国 中部地震では、日頃のコミュニケーションの大切さを

りしています。特に子どもたちに対しては、実体験を通して防災を身近に感じてもらうことを大事にしています。

HUG研修会では、参加された方が自分たちの地域の状況を踏まえて避難所運営の課題を考え、実際さながらに創意工夫される様子が印象的です。

知事 鳥大防災Lab.の皆さんには鳥取県版HUG開発にも携わっていただきました。地域で考え防災力を高めていくのが、鳥取県らしさかもしれませんね。

三津国 松崎地区の伝統市「三八市」を復活させるために仲間と立ち上がりました。また、空き店舗だったところにコミュニティカフェ「梅や」を作り、地域の方が繋がる場、移住者をサポートする場となっています。地域のお年寄りの避難誘導訓練や、防災ワークショップなど、地域防災力の向上にも取り組んできました。

中部地震の際は、移住者の若者たちがお年寄りへの声掛けや避難誘導に走ってくれるなど、防

実感しました。三八市やカフェ梅やが、地域の繋がりを守り育てる場であり続けられるようこれから頑張っていきます。震災から10年が経ちますが、防災意識が薄れてしまわないようワークショップや訓練も続けていきたいと思っています。また、例えば避難所が誰にとっても穏やかに過ごせる場所となるためには、女性の目線で考え



子どもたちと楽しみながら防災を学ぶ(鳥取市立面影小)



石津 明加里 さん

実体験通じた学びを大切に



浜村自主防災会へのHUG研修会。地域との連携で防災力アップを図る

災における地域づくりの重要性を改めて感じました。

知事 普段から結びつきがあったからこそ震災時にも支え合うことができたんですね。象徴的なエピソードで、大いに学ぶべきモデルです。

松本 防災体験キャンプでは、実際の避難所となる小学校の体育館に一晚泊ります。段ボール1枚で床に寝たり非常食を食べたり煙体験をしたり、親子で一緒にさまざまなことを体験します。災害は、子どもが1人の時に起こるかもしれない。命を守るため、子ども自身に正しい知識や経験を持たせてあげることがとても大切なんです。また、キャンプを通じて地域の方が繋がっていくことが地域防災の役に立っているとも感じています。

知事 皆さんそれぞれに、「ぼうさいこくたい」も活用し、その先の安心、安全を見据えていらっしゃる、大変にありがたいと思います。

皆さんのお話にもあつたように、大切なのは地域のコミュニティの力です。例えば「支え愛マップ」。現在、約3分の1の集落で取り組まれています。作成過程で地域の実情が自然と共有でき、災害時にはこれを基に行動するもので、中部地震でも役立ちました。さらに、今では避難にあたって支援が必要な方一人ひとりに即した「個別避難計画」の策定も進んでいます。DWAATの整備など体制づくりも進め、福祉避難所開設などの工夫を図っています。

誰にとっても過ごしやすい避難所運営のためには、女性の参画も非常に重要です。女性のため

絆社会が 私たちの素晴らしい財産

平井 伸治

の避難物資の備蓄のほか、トイレ、食事、ベッドなども順次整備中。県民の皆様の安心に繋がっていきたくと考えます。

災害はいつ起こるか分からない。いざ起こった時、行政は既存の枠組みにとられず現場で必要とされることをすぐにやる。これが早期の復旧にも繋がります。その片方で、地域の皆さんが自分たちにできることを協力してやっていく体制、風土が根付いていけばさらに強い地域になります。「ぼうさいこくたい」が、その推進力になればと考えます。

「鎌をそろえて山畑の春日うしかえす」（河本緑石）。

みんなで力を合わせて畑を耕すように、絆を大切に、県民皆が「午くいく」よい年にと祈ります。



三八市で、通りは賑わいを取り戻し、人と地域が繋がる場に



パワフルな女性が集まった
実行委員会メンバー



三津国 美枝子さん

コミュニティ育み 地域の力に

ることも重要ですよ。私たち女性が多い会ならではの視点で、地域の役に立っていただけらと考えています。

松本 少子高齢化社会の中で、いざ災害が起こったときにカギになるのが中高生の力だと思っています。小さいうちに防災キャンプやHUGを体験して少しでも知識や経験を持った子どもたちが力を合わせてくれれば、きっと大きな力になります。子どもたちが楽しみながら学ぶという点を大切にしながら、今後も防災体験キャンプを続けていきたいと思っています。



松本 みゆきさん

子どもの経験、未来に繋げたい



実際にテントでの宿泊も体験する貴重な機会

防災体験キャンプではカードゲームなども活用し知識を深める

鳥取県の 純米酒で乾杯！ キャンペーン2025

鳥取県伝統工芸士の手による特製酒器や、県産おつまみがあたるキャンペーンを実施中。
おいしいお酒を飲んで、お酒がさらにおいしくなるプレゼントをゲットしよう！

応募締切
2月14日(土)

詳しくは
こちら



海外で魅力伝える

2025年11月、フランスでトッププロモーションを実施。大使館、レストランで鳥取県自慢のさまざまな食材や料理とともに純米酒の魅力を紹介しました。



燗酒の裾野広げるイベントも

燗付の技術や料理とのマリアージュを競う「燗椀グランプリ」、地酒を気軽に楽しむ「燗椀フェス」を同日開催。多くの来場者が鳥取の燗酒の魅力を感じました。

米と麴と水だけで醸す純米酒。日本酒の中でも米の風味や蔵の個性が表れやすいとされ、温度変化による味わいの違いを楽しむのに適した点も特長です。鳥取県は、日本酒の生産に占める純米酒の比率が約8割。全国でも有数の純米酒どころなのです。
地域の風土や文化に根差して造り続けられてきた鳥取県の純米酒。全国、そして海外にも広く魅力を発信し、支持を広げていきます。

とっとり 純米酒 もつと楽しむ

TOTTORI
Junmai-shu

を

鳥取の純米酒、GIに指定



GI鳥取表示マーク

2025年10月、鳥取県の日本酒が国の地理的表示(GI)に指定されました。県内で収穫した米、採取した水のみを使用し、県内で製造された純米酒であることなどの基準を満たし審査会で認定された銘柄だけが「GI鳥取」を表示することができます。

地理的表示(GI)とは

産地や原料及び製法について基準を満たしたことを示す制度。国の指定を受けた商品だけがその産地名(地域ブランド)を独占的に名乗ることができる。



「GI鳥取」の特性



小ロットで丁寧に、
純米酒に特化した方法で
醸造されている



温度によって味わいが変わり、
燗にすることで旨さが
際立つ酒が多い



後味がすっきりとしているが
米の旨味をしっかり感じられる



旨味の強い料理と相性が良く、
料理と互いに引き立たせ合う
食中酒である

など

「GI鳥取」認定商品 (一部)

初回審査会で
8つの酒蔵から15商品が認定



鷹勇 純米吟醸 強力 (評価品温) 常温	大谷酒造	千代むすび 純米大吟醸 強力50 (評価品温) 常温	千代むすび酒造	八郷 生酏純米 八郷 (評価品温) 常温	久米櫻酒造	日置桜 純米吟醸 伝承強力 (評価品温) 燗	山根酒造場	いなば鶴 純米大吟醸 強力 (評価品温) 常温	中川酒造	瑞泉 純米大吟醸 純米大吟醸 (評価品温) 常温	高田酒造場	鵬 シルバー 純米大吟醸 鵬 (評価品温) 燗	諏訪酒造	諏訪泉 純米大吟醸 おとり (評価品温) 燗	太田酒造場	辨天娘 純米 強力 (評価品温) 燗
-------------------------	------	-------------------------------	---------	-------------------------	-------	---------------------------	-------	----------------------------	------	-----------------------------	-------	----------------------------	------	---------------------------	-------	-----------------------

(評価品温)… 認定審査の際に酒蔵が選択した品温(常温又は燗)

問合せ先 販路拡大・輸出促進課 電話 0857-26-7640 FAX 0857-21-0609



ひとりで
背負っている
子どもがいます

いませんか？

ヤングケアラー

ヤングケアラーって？

本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話・介護などを過度に担っている子どもや若者のこと。年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、心身の発達、人間関係、勉強、進路などに影響を及ぼすことが問題となっています。

■ 例えばこんな子どもたち



厚生労働省の調査では、中学2年生の17人に1人が家族の世話をしていると回答しており、ヤングケアラーは決して珍しい存在ではありません。勉強や部活に打ち込んだり友人と過ごしたりといった「子どもとしての時間」を家事や家族の世話などの責任や負担の重さにより諦めてしまうことで、子どもの権利が守られていない可能性があります。

家族を支えるために頑張るのは素晴らしいことですが、自分の時間を過ごすこともとても大切です。県は、電話相談のほかLINE相談窓口も設置するなど、気軽に相談できる体制を整備しています。自分がヤングケアラーだと気付いていない子どもも多くいるため、周囲の大人が存在に気付いてサポートしたり相談窓口に繋げるなどご協力をお願いします。

一般社団法人日本ケアラー連盟のヤングケアラー資料を参考に作成

ひとりで背負わず、
話を聞かせてください

鳥取県ヤングケアラー相談窓口

鳥取県ヤングケアラー LINE相談窓口

受付時間 24時間
対応時間 18:00 ~ 23:00



相談時間
夜間・休日 [平日] 17:30 ~ 8:30
[土日祝日] 24時間

いじめ110番
鳥取県教育委員会 生徒支援・教育相談センター
☎0857-28-8718

平日 相談時間 8:30 ~ 17:30

東部 福祉相談センター
☎0857-29-5460

中部 倉吉児童相談所
☎0858-22-4152

西部 米子児童相談所
☎0859-33-2020

子どもたちのために 地域で学びませんか

公民館や支援団体などヤングケアラー支援に協力いただける地域の団体が、ヤングケアラーの課題や対応策について学ぶ研修会の開催費用を助成します。

詳しくはこちら



補助率	10/10
補助上限額	8万円

県人事行政の運営等の状況の公表について

「鳥取県人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、鳥取県の職員数や給料の実態、各種手当の状況などを県ホームページ等で公表しています。

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	327,697円	42.7歳
警察職	346,046円	38.3歳
高等学校 教育職	391,580円	46.8歳
小・中学校 教育職	371,327円	42.5歳

※令和7年4月1日現在

問合せ先 人事企画課

電話 0857-26-7618 FAX 0857-26-8140

詳しくはこちら



R8年度入校

産業人材育成センター生徒募集

実践的な職業訓練を通して就職に直結する知識・技能を習得できます。授業料は少額で、県内企業との結びつきが強いため県内就職も有利に。ご自身にあったコースで、働くスキルを身につけませんか？

倉吉校 募集科

- ものづくり情報技術科
- 土木システム科
- 木造建築科
- 総合実務科※

米子校 募集科

- 自動車整備科
- 設計・インテリア科
- デザイン科

※知的障がい者が対象で、授業料無料

出願期間 1月5日(月)～27日(火) ※必着

詳しくはこちら

問合せ先 産業人材育成センター

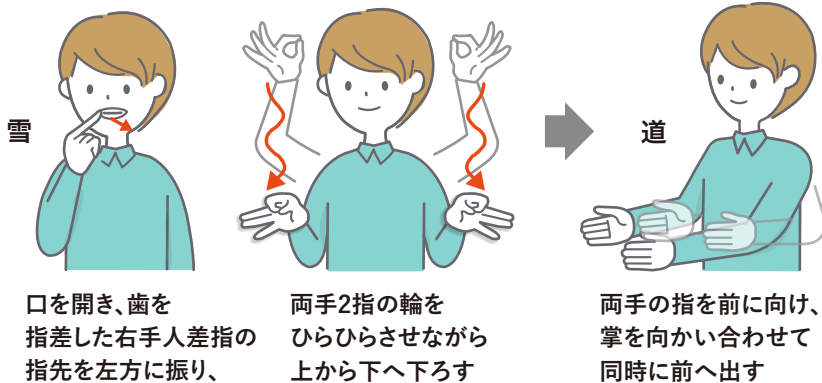
倉吉校: 電話 0858-26-2247 FAX 0858-26-2248

米子校: 電話 0859-24-0372 FAX 0859-24-4094



手話を覚えてみよう

今月の手話 「雪道」



例年、1月から2月にかけて雪道・凍結路でのスリップ事故が多発しています。必ずスタッドレスタイヤを装着したうえで、車間距離を十分に取って安全な速度で走行しましょう。

県内道路の積雪状況・通行規制等は雪道ナビで確認できます。



監修

公益社団法人
鳥取県聴覚障害者協会
電話 0859-30-3720
FAX 0859-30-3131



読者の声

Reader's Voice

11月号の意見・感想から

デフリンピックの自国開催を機に、少しでもきこえない・きこえにくい方への理解が深まることを願っています！

(70代)

「遙かな町へ」の原作が好きなので、いつか倉吉市に聖地巡礼をしに訪れたいと思いました。映画の公開楽しみです！

(30代)

鳥たちが住みやすい環境を守るために、私も清掃活動などに参加したいと思いました。

(20代)



11月号には1,692人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

DATA 鳥取県の人口・世帯数

県人口 524,272人
〔男〕250,994人〔女〕273,278人

世帯数 222,520世帯

(2025年11月1日現在推計)

鳥取県公式SNS



@tottori.pref_line



@tottoripref



@tottoripref



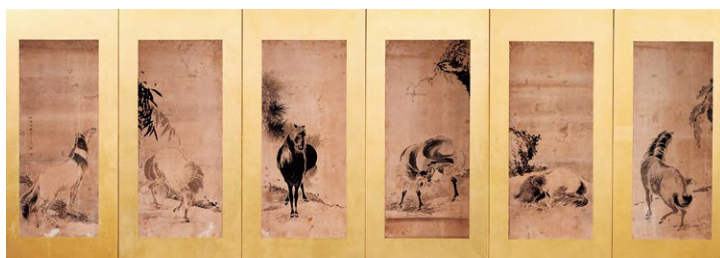
@tottori.pref.kouhou

昨年3月に開館した鳥取県立美術館。みんなに「ひらかれた美術館」として展示やイベント、そして館そのものをさらに楽しんでいただけるよう魅力をご紹介します。

コレクション展

新年だヨ!全午集合

うま



土方稲嶺「馬図屏風」(鳥取県立博物館蔵)

会場 コレクションギャラリー5

会期 2月11日(水・祝) まで

※休館日はウェブサイトにてご確認ください。

詳しくは
こちら



VOL.09

うまのはなし

今年の干支は午!馬と言えば、初詣でよく書く絵馬は、もともと本物の馬を神様に奉納していたのが起源だということを知っていますか? 馬は神聖な動物である一方、人々の身近な存在として生活の中にあり続け、日本美術のさまざまな場面に登場します。時代や様式を超えた多彩な馬の中から、あなたのお気に入りの一頭を見つけてみませんか。

問合せ先 県立美術館

電話 0858-24-5442 FAX 0858-24-1441



今月の県産品プレゼント Monthly Present

有限会社サンバック

贅沢 王秋梨ジュース 180ml(3本) 抽選5名様

令和7年度「食パラダイス鳥取県」特産品コンクールで総合グランプリを受賞。鳥取県産の王秋梨を丸ごと絞った贅沢なジュースで、甘みが強くみずみずしい王秋梨の魅力を詰め込んだ逸品です。



※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これら目的以外には使用しません。



防災意識の啓発や防災力向上を図る「ぼうさい□□」が、今年は鳥取県で開催。空欄に入るのは次のうちどれでしょう。

クイズ

- ① こくたい ② 甲子園 ③ 選手権

応募締切 1月20日(火)必着

応募方法 応募フォームより、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、ご応募ください。

応募フォーム
はこちら



※はがきでも応募可／【応募先】〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」

広告 厚生労働省鳥取労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」



謹賀新年

シルバー人材センター会員募集中

新しい年、新しい仲間と一緒に地域で活躍してみませんか? シルバー人材センターは「ちょっと働きたい」「地域の役に立ちたい」そんな気持ちを大切に働ける場所です。まずはお気軽にお問い合わせください。

入会申込、お問合せはあなたの町のシルバー人材センターへ

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 TEL.0859-37-2531
〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地 URL <https://www.torisilver-ren.com>



※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。